

報道関係各位

2013年4月8日
日本アキュレイ株式会社

「サイバーナイフ ラジオサージェリーシステム VSI」

放射線治療機器の最新モデルを販売開始

— より効率的で非侵襲な体幹部治療が可能に —

日本アキュレイ株式会社（社長：穂積 重紀、本社：東京都千代田区）は、放射線治療機器「サイバーナイフ ラジオサージェリーシステム VSI」（以下、サイバーナイフ VSI）※1の販売を4月1日より開始致しました。

また4月12～14日の期間、パシフィコ横浜において開催される国際医用画像総合展（ITEM2013）にて国内で初めて公開展示することをお知らせ致します。

※1 本システムは、2012年8月、厚生労働大臣による薬事承認を得ました。VSIは、Versatility Simplicity Intelligence の略で、本製品の汎用性、簡潔さ、高機能性を表現するものです。

「サイバーナイフ VSI」は、出力線量率を従来機種との25%増である1,000MU/分にパワーアップし、より効率的な体幹部治療に貢献します。

また、肺がんの高精度な放射線治療に必要なであった金マーカーの留置が不要となる追尾機能「Xsight Lung Tracking System (XLT)」に加え、非侵襲治療の対象症例を拡大する新機能「Lung Optimized Treatment (LOT)」を搭載しました。これにより患者さん負担の少ない治療が実現可能です。

今回の発売にあたり、当社代表取締役社長 穂積 重紀は次のように述べています。「サイバーナイフ VSIは、頭蓋内・頭頸部における高精度な放射線治療を体幹部でも実行可能な Synchrony 呼吸追尾システムをはじめ、治療部位に合ったトラッキング技術を搭載しています。今回、新機能 LOTにより、これまで非侵襲治療の対象とならなかったがんも、その対象にできる可能性が高まります。当社は、より多くの患者さんが“切らずに治す放射線治療”のメリットを享受できるような開発を引き続き行ってまいります。」

サイバーナイフシステムのテクノロジーは、頭蓋内・頭頸部に加えて体幹部病変にも、主に体幹部定位放射線治療（Stereotactic Body Radiation Therapy：SBRT）を提供します。また、動体追尾システムを搭載し、照射ターゲットを高精度で捉え有効線量を照射することが可能で、重要臓器や正常組織に隣接した腫瘍の治療も可能にします。

アキュレイについて

Accuray Incorporated (NASDAQ: ARAY)は、本社をカリフォルニア州サニーベールにおく放射線腫瘍学の企業です。同社は、患者さんのより長く、より良い生活の支援を目標

とし、標準治療となる患者さんごとの革新的な治療ソリューションを開発、製造、販売しています。同社の先端的技術はあらゆる範囲の放射線療法、放射線手術治療を提供することができます。現在までに、667 台のシステムが世界の有力病院に設置されています（2012 年 12 月末現在※2）。

日本アキュレイ株式会社は、Accuray Incorporated の日本法人です。日本アキュレイ株式会社の本社には、医療従事者向けトレーニング施設「Accuray Technology Exchange Center (ATEC/エイテック)」が併設され、医療従事者向けのトレーニングにも力を入れています。

※2 サイバーナイフシステムとトモセラピーシステムの合計

サイバーナイフ ラジオサージェリーシステム VSIについて

2013 年 4 月より販売を開始。線量率を 800MU/分から 25%増の 1,000 MU/分として体幹部治療での治療効率を向上させました。また、肺がん治療において新機能を搭載し、金マーカー留置が不要な非侵襲の高精度放射線治療の対象症例を拡大しました※3。

※3 位置・大きさ等条件を満たす腫瘍に限ります



放射線治療機器「サイバーナイフ ラジオサージェリーシステム VSI」

※ 画像はイメージ

本件に関するお問い合わせ先

日本アキュレイ株式会社 マーケティング 武田 卓子／相子 純子

TEL : 03-6265-1544 FAX : 03-3272-6166

takeda@accuray.com / jaiko@accuray.com